

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立草加東高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の置かれた状況や生徒の実態を把握し、「社会に貢献できる生徒を育成する」という部分に反映させるなど、今年度見直しを図られた。生徒・保護者・地域の期待やニーズを適切に把握した上で、今後の目指す方向が明確で分かりやすいものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。目指す学校像の変更に連鎖させて、中期的な視点から、更に検討・整理して目標の具体化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年・教科の「学校自己評価チェックシート」が作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。一部のチェックシートにおいて、学校全体の重点目標との連鎖が不十分なものも見受けられるので、更に連鎖が密になるよう工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	生徒の変容等学校の現状に基づき、授業力向上などの評価項目達成に向けた方策が策定されている。評価指標については、方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないものがあるので、取組指標と成果指標をうまく組み合わせで分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が教育活動状況を把握し、学校の現状を踏まえた学校経営の方針を持って取り組んでいる。教職員一人一人を的確に生かし、組織力を高めようとする校長の意欲が感じられた。更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見やアンケート結果を教職員に示し、達成状況や課題の共通理解を図っている。アンケートの分析結果や前年度の課題を次年度の目標・方策の設定に生かしているが、更に分掌等と学校全体を連携させ、より組織的なPDCAサイクルを確立していただきたい。	
特記事項			